



はばたき TEA TIME



はばたきの指導において『先生の話聞く』『友達の話聞く』ことを大切にしています。子供たちの気持ちや考え方が分かることは、もちろんですが、子供たち自身が話すことで様々な効果を得られます。

例えば、①語彙を増やす。

②話すことで気持ちや出来事を整理する。

③深く考えて、善悪を判断する。

④相手の気持ちを理解する。 などです。



つまり、話を聞くことでコミュニケーションの力を養うことができます。そこで、ご家庭でも使える子供の語彙を増やす話し方や話しやすい聞き方、相づちを紹介します。

①丁寧な言葉で話す。

子供たちは、保護者や教員、友達の話し方をまねることから語彙を増やしていきます。

また、一度、覚えた言葉を丁寧な言い方で覚え直すことが、負担になる子供もいます。

関わる人が率先して丁寧な言い方をする姿を見せることで、子供たちの使う言葉も丁寧なものになっていきます。

②まずは、「はい。いいえ。」で答えられる質問から始める。

すぐに返事ができない子供でも「冬休み楽しいことあった？」と聞くと、

「うん。」と返事をしてくれることがあります。

なかなか言葉が出てこないときには、「はい」「いいえ」から選んだ後に深めていく方法もあります。

③言い換える、要約する。

子どもが1番話したくなるのは、きちんと聞いてもらっている、共感してもらっていると分かることです。その方法の一つとして、聞いたことを言い換えたり、要約したりして伝える方法です。

例、「今日、なわとび10回跳んだよ。今までで1番たくさん跳んだよ。」

→「10回も跳んですごだね、頑張ったね。最高記録だったんだね。」

このコラムが、ご家庭でたくさん会話をし、ゆっくりお子さんの話を聞いていただく機会になれば幸いです。